

## 京王杯2歳ステークス

ここ数年、マイル以上に適性がある血統の強い馬は出ない傾向が進み、芝 1200m 適性の高い血統馬の方が強い傾向。

昨年は父が芝 1200m の G1 を勝っていた種牡馬の 1、2 着。

2021 年 8 番人気 1 着キングエルメスは欧州型ミスプロ系のロードカナロア産駒。  
2020 年 5 番人気 3 着ユングヴィは欧州型ミスプロ系のミュゼスルタン産駒。  
2018 年 1 着ファンタジストは欧州型ミスプロ系のロードカナロア産駒。  
2017 年 1 着のタワーオブロンドンも父レイヴンズパスが欧州型ミスプロ系。  
後のスプリント G1 馬。

既に芝重賞で連対した実績のある実力馬は  
過去 5 年で 10 頭中 6 頭が馬券になっているように、順当に走っている。

本命はスピードオブライト

父は欧州型ミスプロ系のロードカナロア。  
同産駒は 4 頭出走して 2 勝。どちらも母父はサンデー系。

ロンドンプランは唯一の重賞勝ち馬。  
スプリント指向強いレースになっていて、スプリント重賞勝ちも評価。  
タメも効くグレーターロンドン産駒で直線延びるのも問題ありません。

あとは、今の馬場走りやすい欧州型で  
スプリント適性と体力の完成度の高さを兼ね備えた 4、14。

## ファンタジーステークス

3年連続、阪神芝 1400m で施行。

昨年は 1 着ウォーターナビレラ、2 着ナムラクレアが父ディープ系。  
一昨年も 1 着メイケイエールが父ディープ系。

このレースに限らず、近年の同コース重賞は  
未脚も伸びやすく父ディープ系が強い。

本命はトゥーテイルズ。

母父は当レースに相性の良いディープインパクト。

母ウリウリは芝 1200、1600 重賞を優勝。1400mもレコード勝ち。

鞍上はCデムーロ。

ディープ+外国人の重賞挑戦での上昇は母父でも健在。  
特にトゥーテイルズの父は母の個性を引き出すキングマンボ系。

相手本線はPサンデー系の実績馬 11、10。母父ディープの 3。